

# サポートブックを作ろう!!

～ 発達障がいのある子どもたちの  
正しい理解と支援のために ～

外見からは理解されにくい発達障がいのある子どもたち。そんな子どもたちが少しでも生活しやすくなれるように、サポートブックを作ってみませんか？ 家族、主治医、担任の先生など支援者の方々に御協力いただきながら、あまり難しく考えず、出来るところからで良いので取り組んでみましょう。お子様の共通理解が進み、きっと生きやすさにつながるでしょう。

また、子どもたちは成長しますので、サポートブックの内容も日々変わっていくものです。変化していくサポートブックは、そんな子どもたち成長の記録にもなるでしょう。

## サポートブックとは

サポートブックとは、発達障がいのある子どもたちのコミュニケーションの特徴、接し方の工夫、日常生活の援助、生育歴などを記載したり、医療機関からもらった診断書や知能検査の結果等をファイリングしたりする手帳のようなもの。

## サポートブックは必要？

### 1 御家族の負担を軽減するために

支援者が変わるたびに、一からお子様の特徴や生育歴などを説明した経験はありませんか？

サポートブックがあれば、このような負担が軽くなるでしょう。

### 2 支援者の負担を軽減するために

「発達障がいのある生徒を担当したことがない」と先生に言われたことはありませんか？

サポートブックがあれば、先生たちがそんな子どもたちを理解する上での負担が軽くなるでしょう。

### 3 「生きやすさ」への支援のために

支援者が変わるたびに、かかわり方がいつも違ったり、わかりにくい手段でかかわられたりしたら、子どもたちは混乱することが多いことでしょう。

サポートブックがあれば、御家族を含めた支援者の子どもたちに対する共通理解が進み、ひいては子どもたち自身の生きやすさにつながるでしょう。

## どんな内容が必要？

### 1 プロフィール

名前・愛称・年齢（生年月日）・住所・連絡先・血液型・現況（所属）・家族構成・生育歴・相談歴・個別の教育支援計画・障がい名（診断書）・知能（発達）検査の結果・現在服用中の薬など

### 2 コミュニケーション（表出・理解）のとり方や工夫

### 3 日常生活の援助について

余暇活動（好きな遊び）・食事・トイレ・着替え・入浴・洗面／歯磨き・外出／移動・就寝／起床

### 4 こだわりや癖について

### 5 パニックや困った行動とその対応

### 6 発達障がいのこと

特性や対応の基本

など

## どんな時に使うの？

### ● ボランティア用

ボランティアの人にお子様を預ける時

### ● 先生用

担任の先生が変わった時や、進学した時

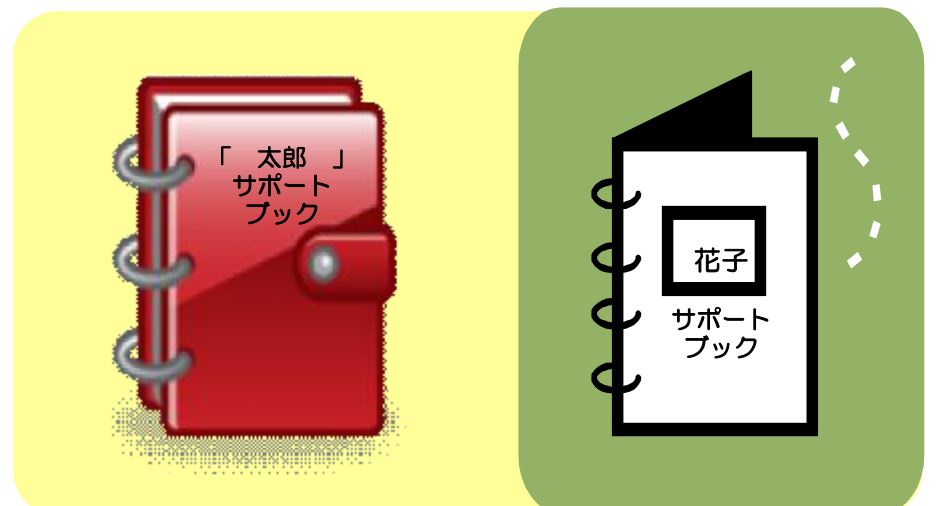
### ● 専門機関用

主治医が変わった時や、新たな療育機関に通い始めた時

### ● 職場・家族・親戚・地域用

就職した時、床屋さんに行った時、親戚や地域の方々に説明する時

など



サポートブックに関する問い合わせ先  
山形県発達障がい者支援センター  
(総合療育訓練センター内 相談課 発達相談担当)  
TEL: 023-673-3314 / 担当: 中島

# 例えば、こんな感じです…

○ ( 写真 )

名前	
愛称	
生年月日(年齢)	
住所	
電話番号	
血液型	
学校	

<表紙>

○ ぼくは、〇〇〇〇です。お父さん・お母さん・〇才の弟・おばあちゃんと一緒に暮らしています。

○ ぼくには、自閉症という障がいがあります。人と話をするのが苦手だったり、一人で好きな遊びに熱中していたりするところがありますが、決して人と話したり遊んだりすることが嫌いなわけではありません。みんなとどのように話したらいいのか、遊んだらいいのか想像できなかったり、みんなと少し違った感じ方をしたりしていると言われてます。こんなぼくですが、よろしくお願いします。

○ <好きな遊び>  
〇〇、××、△△、□□

○ <好きな勉強>  
〇〇、△△

○ <好きなスポーツ>  
〇〇、××

<自己紹介>

○ <意思表示>  
人と話をするのが苦手です（特に初対面の人）。単語や〇〇ちょうだいのような2語文を話すことが出来ますが、みなさんの手首をつかんで、して欲しいことを要求する時もあります。また、言われていることの意味がわからないときなど、皆さんの言葉を真似して答えることがあります（オウム返しと言います）。

○ <話や指示の理解>  
人と目を合わせることが苦手ですが、「〇〇くん」と言ってもらえれば、大抵は話を聞いています。話は具体的に、簡潔に伝えて欲しいです。大きな声は苦手なので、穏やかな声をお願いします。伝わりにくい時は、絵や写真、文字などで示してもらえると嬉しいです。

<コミュニケーション>

○ <食事>好き嫌いはほとんどありませんが、ふりかけをかけないとご飯は食べられません。

○ <トイレ>自立しています。おねしょもありません。初めての場所では、トイレの場所を教えてください。

○ <着替え>時々シャツを出している時がありますので、その時は教えてください。

○ <入浴>お風呂は大好きです。シャンプーは手伝ってください。

○ <洗面・歯みがき>あまり上手に出来ません。仕上げを手伝ってください。

○ <外出・移動>気になるものがあると、まっしぐらのところがあります。目を離さないでほしいです。

○ <就寝・起床>暗いところが苦手なので、豆電球だけはつけて寝かせてください。寝起きはいいです。


<日常生活の援助>

○ ぼくには次のようなこだわりや、ちょっと変わった癖があります。

○ ・食事のところにも書きましたが、ふりかけをかけないとご飯を食べられません。

○ ・廊下を歩く時など、壁にそって歩くことがあります。

○ ・ミニカーを一列に並べて遊ぶのが大好きです。列を壊されるとイライラします。ミニカー以外のものも並べていることがあります。みなさんと一緒に楽しんでくれるとうれしいです。



<こだわりや癖>

○ ぼくの苦手なこと

- ・大きな音や声
- ・思い通りにならない
- ・嫌な出来事を思い出す

○ このため、ぼくは次のような行動をとってしまうことがあります。

- ・両耳をふさぐ
- ・自分の手をかむ、頭をたたく
- ・「う～う～」とうなる
- ・走ってその場から逃げ出す

○ そんなとき、次のような配慮をしてもらえると嬉しいです。

- ・休める場所を用意してほしいです
- ・行動がおさまったら、穏やかな声で話しかけてください。
- ・一番良いのは、苦手なことが起らないことです。

<パニックとその対応>

○ 生育歴

妊娠中
出産時
乳幼児期
学齢期

○ 相談歴・療育歴・教育歴

時期	機関	内容

<生育歴・相談歴>

○ 診断書

○

<診断書・判定結果>

○ 自閉症のこと

みなさんは、自閉症のことをご存知ですか。自閉症とは、次のような特徴のある障がいです。外見からはわかりにくく、「わざとしているの?」とか、「ふざけているの?」と思われるかもしれませんが、決してそんなことはありません。よろしくお願いします。

○ <社会性の障がい>  
お友だちとあまり仲良く遊べません。

○ <コミュニケーションの障がい>  
ことばがあまり上手に話せません。

○ <想像力の障がい、こだわり行動>  
初めてのことは不安です。ミニカー並べに没頭していることがあります。こうしていると落ち着くのです。

<自閉症のこと>